

# 「今こそ核兵器対策を」

古庄 幸一 隊友会相談役

「：2020年7月 会場が騒然となった。場  
24日(金)20時、東京 外の明りも消えている。  
オリンピックの開会式が 私は携帯を開き、家族に  
新しい国立競技場で始 電話を掛けようとしたが  
まり、私は競技場の観客 通じない。もしかすると  
席にいます。聖火ランナー テロによる、高々度での  
が、国立競技場に入っ 核爆発ではないかと思  
きた。そのとき夜空が一 い、空を見上げた：」こ  
瞬赤く染まり、次の瞬間 こで目が覚めた。夢でよ  
に全ての照明が消えた。 かった。  
場内は真っ暗闇になり、

はじめに

今や地球上では、  
先進国・後進国を問わ  
ず、情報通信技術の進  
歩により、経済、文化  
等ほとんどのライフス  
スタイル分野での活動  
がその恩恵を受けて、

先進国の軍事的  
取り組み

格段に効率的かつ能率的  
になっている。特に先進  
国では、国家機関、自治  
体、企業、研究機関そし  
て個人の様々な活動が利  
用する輸送、通信手段、  
コンピューター等の業務  
遂行手段と社会インフラ  
が、発電所から送られる  
電気や宇宙・サイバー空  
間、そして電磁波全域に  
おける技術を利用して  
いる。更にこれらは国内に  
留まらず、国際公共財に  
まで依存が拡大して今日  
の世界は動いている。

軍事の分野において  
も例外ではなく、米国で  
は2014年から第3の  
オフセット戦略構想が発  
表され、人間と機械(口  
ボット)との協働戦闘  
チームのあり方を重視す  
ることとして、民間技術  
部門との連携を強化して  
いる。特に測位技術、大  
型無人潜水艦・航空機、  
打撃兵器を挙げている。

夢で見たものは、  
「高々度電磁パルス」

中でも巨大な威力を  
持っているのが、核兵  
器・核爆発装置を利用し  
た電磁(波)パルス兵器  
である。例えば、広島と  
同じ約15キロ程度の小  
型核兵器・核爆発装置を  
持っている韓国や、中国に

おわりに

自らHEMPの実験を  
行った米国、ロシア以外  
の国では、北朝鮮と対峙  
と宣言する。  
(ふるしゅう・こいち)



時の動き